

# 総合政策学部

徳島キャンパス

アドミッション・ポリシー

## 1 学部の求める人物像

主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を有する人を求めます。

- (1)これまでの生活のなかで、価値観や意見の対立を克服した経験などをもとに、社会科学の基礎的知識を用いた問題解決策を立案する能力を身に付けたい人。
- (2)将来、企業社会、公共分野、国際社会といった実社会の問題を解決するために、多様な価値観や考え方を知り、広い視野を有するゼネラリストとして活躍したい人。

## 2 入学試験の基本方針

求める人物像の主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度と(1)思考力・判断力・表現力等の能力、(2)知識・技能を総合して判定を行います。学力試験だけでなく、調査書、志望理由書(作文)などの資料、面接試験での応答などを試験種別に応じて組み合わせます。一般入試、大学入試センター

試験利用入試では各教科の基礎が身に付いていることを評価し、推薦入試及びAO入試では高い学習意欲や学びへの明確な目的意識に重点をおいて評価します。

## 3 高等学校等で修得が望ましい内容

- (1)思考力・判断力・表現力等の能力
  - ①一定量の日本語または英語の文章を読み、筆者の考え方をくみ取ることのできる基礎的能力。
  - ②テーマを与えられて、自分の意見を的確に、一定の時間と分量で論理的に記述する能力。
- (2)社会事象を分析・記述するための知識・技能
  - ①社会事象を分析・記述するために必要な「数学」・「簿記」の知識。
  - ②現代社会に生じている課題や現代社会を支える制度についての基本的知識。
  - ③社会問題の発見のための自然科学や人文科学の基礎的知識。

## i-チャレンジ型

	小論文	「志望する学科のアドミッション・ポリシーをふまえ、次の3つのテーマ全てについて述べてください。」(1,200字程度) ①選んだ学科で学びたいことは何ですか。 ②あなたの性格・趣味や夢中になったこと、得意・不得意科目、高校で意欲的に取り組んだ活動などから、どのような学生生活を送りたいですか。 ③大学で学んだことを活かして、将来社会でどのような分野で活躍したいですか。
選考方法	メール交換等	小論文に基づき、質問をメール等で行います。回答をメール等で返送してください。(3回程実施します。)
	合意の基準	小論文、メール交換等で、 ①志望理由が明確で、総合政策学部の学習内容(カリキュラム)と関連付けられているか ②大学で学ぶための基礎的能力(表現力・理解力)は十分か ③将来のゼネラリストとして社会に不可欠なコミュニケーション能力はあるか ④アドミッション・ポリシーに合致しているかを判断し、合意・不合意を決定します。
学力把握方法	小論文・メール等の回答・通知表の写し(または成績証明書)を参考とします。	

面談型		
面談方法	連絡	エントリーシートの受け付け後、面談場所や日時について相談の電話をします。
	相談	その際、志望理由について伺います。また、面談までに見ておいてほしい資料についても説明します。
	面談	総合政策学部の教育方針や学習内容について相談します。あなたの意欲、将来の希望進路、高校での学習、能力・個性について担当者と丁寧な話し合いをします。このとき、これまで資格取得や各種コンクール出場に向けて努力をした人や、部活動・サークル活動・生徒会などで活動した人は、積極的にアピールしてください。
	合意の基準	面談では、 ①志望理由が明確で、総合政策学部の学習内容（カリキュラム）と関連付けられているか ②大学で学ぶための基礎的能力（表現力・理解力）は十分か ③将来のゼネラリストとして社会人に不可欠なコミュニケーション能力はあるか ④アドミッション・ポリシーに合致しているか を判断し、合意・不合意を決定します。
学力把握方法	<b>高等学校等卒業者および卒業見込みの者</b> 調査書の「国語」、「公民」のいずれかの科目が、評定 3.0 以上であることとします。	
	<b>高校卒業程度認定試験を受験した者</b> 高等学校卒業程度認定試験合格（見込）成績証明書の「国語」、「現代社会」のいずれかが評点 B 以上、または免除されていることとします。	

作文型		
作文・面談方法	作文	下記よりテーマを選択し、800 字程度でまとめてください。選ぶテーマは 1 つでも複数でもかまいません。 ●高校時代に頑張ったこと（例：資格取得に挑戦した、ボランティア活動、特定の教科学習など）。 ●いま関心を持っていること（例：若者の生き方、社会でのマナー、人間関係、高齢社会など）。 ●総合政策学部で学びたいこと（例：環境問題対策、地域活性化方策、国際問題解決策など）。 ●10 年後の自分（例：自分の未来予想、社会人として活躍している姿の想像など）。 ●本学が開設する公開講座、出張講義等についての所感。
	面談	エントリーシートと作文を受け付け後、面談場所や日時について相談の電話をします。 まず、作文の内容を自分の言葉で具体的に説明してもらいます。その後、AO 入試担当者から、作文に書かれた内容について質問しますので、答えてもらいます。
	合意の基準	面談では、 ①志望理由が明確で、総合政策学部の学習内容（カリキュラム）と関連付けられているか ②大学で学ぶための基礎的能力（表現力・理解力）は十分か ③将来のゼネラリストとして社会人に不可欠なコミュニケーション能力はあるか ④アドミッション・ポリシーに合致しているか を判断し、合意・不合意を決定します。
学力把握方法	調査書の全体の評定平均値が 3.0 以上であることとします。	

### 入学前教育

高等学校等の教育に支障を及ぼさない範囲で実施します。幅広い分野について学ぶ総合政策学部において、入学後に必要となる能力を身につけるため、eラーニング（インターネットを利用した動画配信サービス）を用いて課題や、将来の進路について考える課題にも取り組んでもらいます。ただし入学前教育の内容は、面談の時期によって異なります。